

プロフィールやメッセージから先生をより知るための
きっかけにしてみてください。

New teacher introduction



立教大学大学院 特任教授

福井 康子教授

慶應義塾大学経済学研究科博士課程単位取得。都市
経済学、世界の都市比較、不動産投資、アセットマネジ
メント、ホテルマーケティング等。『都市・地域・不動
産の経済分析』（共著）など著書・論文多数。国連会
議、研究などで訪れた海外都市は90を超える。

福井先生の自己紹介と 大事にしている価値観を教えてください。

民間シンクタンクでまちづくりや都市の再開発の調査研究
に携わってきました。国連の世界都市フォーラムでは、ナポ
リ、メデジン、南京、ジャカルタ、キトで日本の都市政策を紹介
しました。都市の実地調査では、例えばスイスのローザンヌ
では住民投票によるコンペで優勝した歴史を生かしたまち
づくりを、トロントでは縮小財政による行政サービスストラ
の影響を、ニースでは研究開発都市づくりを、多摩ニュータ
ウンでは住民を活用したまちの再生ビジネスを研究しました。

今春、RBSに特任教授として赴任しました。受け持っ
ているのは「都市マネジメント」「ホテルアセットマネジメント」
と論文指導（ゼミ）です。受講生やゼミ生たちは意識も水準
も高く、バックグラウンドの多様性もあり、授業はとても面白
いです。私は昔から読書好き、活字好きの人間で、そのため
研究部門に配置されたと思うのですが、やって分かったの
は、研究が私にとって天職だということです。ルーティンがな
く、毎回新しいテーマで飽きることがなく、かつ社会的意義
がある、やりがいのある仕事です。

大事にしている価値観は、「置かれたところで咲く」「人
は自分を映す鏡」「神は細部にやどる」「笑いは伝染する」
などたくさんあります（笑）。

福井先生の専門分野に、昨今のコロナ禍の 影響はどの様に関係してきていますか？

もしこのコロナ禍が長引けば、社会や経済のパラダイムが
変容し、人々の価値観すら変えてしまうでしょう。そうなれ

ば、物流・交通や消費、住宅、企業立地などの選考が従
来とは異なる方向に動き始め、都市の構造が大きく変化
してくると想像します。「健康・安全」「家族」「人間関係」
の大切さが改めて認識され、これまでなかなか進まな
かった働き方改革が大きくすすむでしょう。ラッキーなこと
に、過去の疫病時代とは異なり、我々はデジタルトランス
フォーメーション進行下にあります。テレワークや移動性
向のシフトが、どんな変化を都市構造に起こすのか、注
視していきたいと思います。

RBSの学生へのメッセージをお願いします。

RBSという環境を味わい尽くすに留まらず、これをステップ
ボードにして人生に飛躍を遂げて下さい。皆さんは勇気も
もってこれまでの環境を飛び出してRBSに来ました。ぜひ
お勧めしたいことがあります。これから更に色々な所にあち
こち顔を出して積極的に動くことです。主ゼミや副ゼミの先生
だけでなく他の先生方にも、また研究分野に関連する企業
や団体、専門家から当事者まで広く果敢にアタックしま
しょう。ビジネスのチャンスの種は頭の中で考えるだけで
なく実際に歩いて見て回って、沢山の人の会って見つけま
しょう。物理的なアポが取りにくい人でも、オンラインなら会い
やすいというメリットもあります。

本当に重要な情報はたいてい「現場」にあります。これは
私の長年の研究員人生で獲得した知見の一つです。現場の
最前線に向き、最新の情報、貴重な情報をゲットしてくだ
さい。論文を書く時もそうです。自分がこれだ!と思える「軸」
が見つければ、後は自然と書けるものです。発見や情熱や問
題意識がまず必要です。そうしてロジックづくりがスタートでき
ます。「はじめ」から「結論」までの道筋が自分ではっきりと
見えていなければ、いくら机で唸ってもいいものは作れません。